

～ガラスの博物館巡り～



1. 歴史

(1)ガラスが誕生した時の、ガラスの技法はモザイク技法と
() 技法である。

(2)紀元前 1500 年に、「型押し法」という方法で
ガラスを作っていたのは、エジプトと()
である。

(3)紀元前 1 世紀には、() の技術が発明された
ので、窓ガラスや、当時、貴重品だったガラスのコップ
が誕生した。

(4)ヨーロッパの宮廷や富裕層に迎えられた繊細なガラス製
品は、レース・ガラスと() という技
法を使っていた。

(5)1960 年代、アメリカで() らによって、
アトリエグラス運動が行われていた。

(6)日本にガラスが伝えられたといわれている時代は、
() である。



(7)ガラスの原料が作られるようになったのは、
() 世紀である。

(8)1549 年に () が来日した時に、
ガラス製品が伝わった。

(9)西洋文化を商品化しようと思いつき、ガラス製品の開発
が進められたのは、1708 年に、シドッチが () に
来たからである。

(10)大坂の高級なガラスに対して、江戸では、安いガラスの
大量生産が始まった。その時の年号は、() である。

(11)江戸のガラスは、安政 6 年、横浜・函館・() の自由
貿易開始により人気が無くなった。

(12)欧米のガラスのくずが輸入されると、
割れにくい () を作るようになった。



2. 性質

- (1) ガラスは、() の状態である。
- (2) ガラスは絶対に燃えないが、限界まで熱すると、() °Cになる。
- (3) ガラスが透明な理由は、ガラスの構造には()を遮るような粒の境目がないからである。

3. 実験

- (1) ガラスを()と電気が通る。
また、熱したガラスを急冷させるとひび割れる理由は、温度差による()にガラスが耐え切れなかったからである。
- (2) 粉末状にしたガラスを()に入れると、ガラスは、赤くなる。

4. 素材

- (1) 石英が砂状になったものを、() という。
- (2) ベーキングパウダーの主成分で、
洗剤や入浴剤にも含まれているものは、()
である。
- (3) 石灰石のことを、炭酸カルシウムといますが、
ガラスの素材にすることで、ガラスの()が強化
される。

